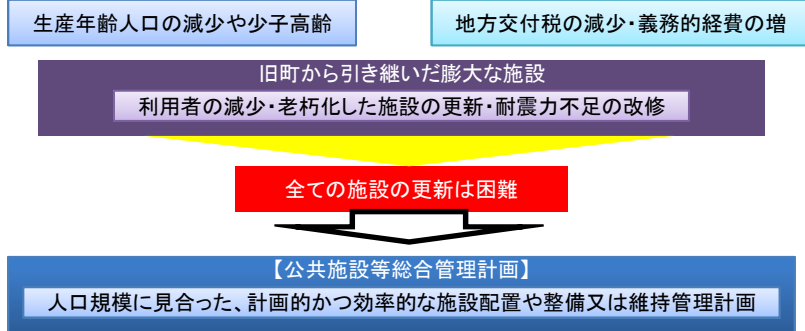


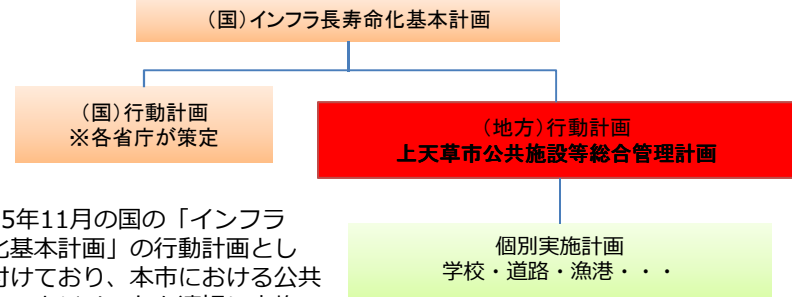
上天草市公共施設等総合管理計画 概要版（平成27年11月）

1 公共施設等総合管理計画の概要

【計画の目的】



【計画の位置付け】



○平成25年11月の国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画として位置付けており、本市における公共施設等のマネジメントを適切に実施、推進するためのもの。

【計画期間】

○計画期間は10年とし、30年間を見通し5年に一度見直しを行う。

2 公共施設等の現状と課題①

1 将来人口の推移

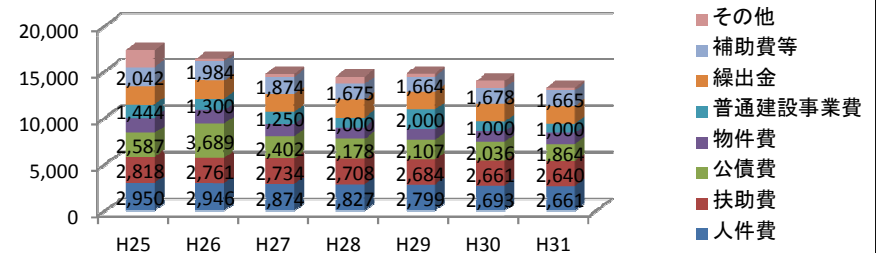
本市の人口は、市外への人口流出により減少傾向が顕著となっており、平成20年～25年の住民基本台帳を基にしたコーホート変化率法による将来人口の推計では、**平成65年の人口は11,048人と想定**。

2 財政の状況と課題

人口減少・少子高齢化に伴い、今後、社会保障等の義務的経費の増大はさらに進み、普通建設事業等の投資的経費の確保は困難な状況。
現在市では、このような状況を踏まえ、毎年度の普通建設事業費を**10億円**と設定し、特に効果の高い事業のみを計上。

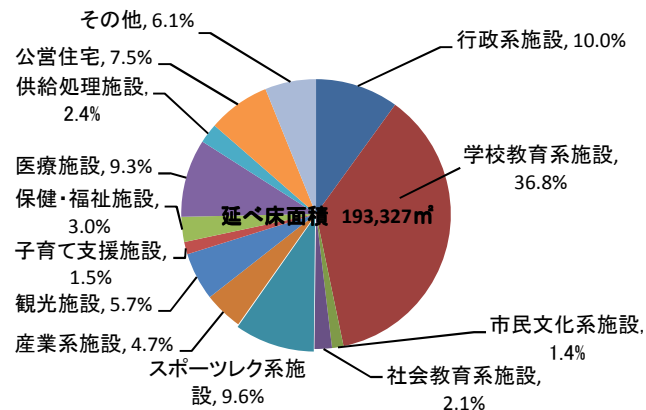
◆歳出額の推移（第3次財政計画）

単位：百万円

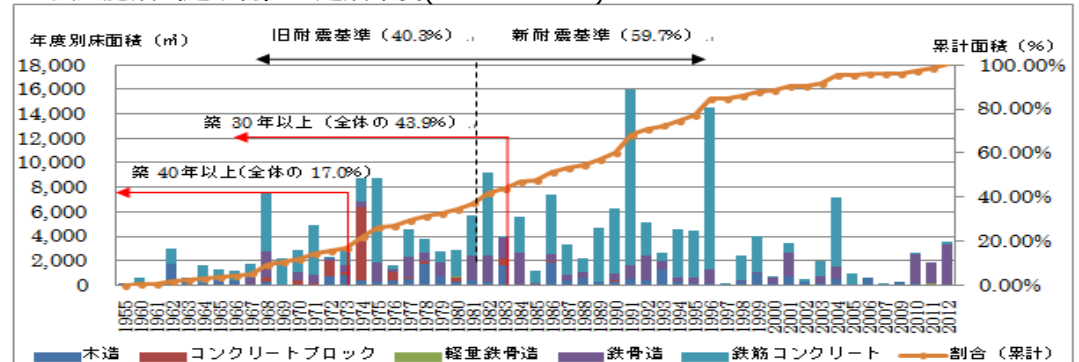


3 公共施設等の状況と課題

(1) 公共施設（建築物（626施設））について
全体の40.3%が旧耐震基準の建築物であり、老朽化した大量の施設が更新時期を迎えている状況。



◆公共施設（建築物）の建設年度(1955～2013)



2 公共施設等の現状と課題②

3 公共施設等の状況と課題

(2) インフラ施設について

海岸線に囲まれ、インフラ施設の延長が膨大であり、人口に対する整備及び維持管理コストの割合が大きく、財政負担にも影響。

◆インフラ施設の保有状況

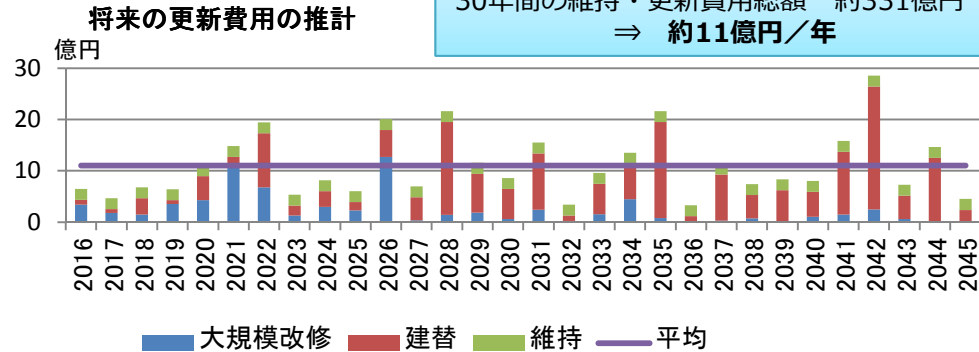
分類	区分	施設延長(m)
普通会計		
道路施設	市道	470,700
	農道	115,049
	林道	20,595
計		606,344
橋梁	市道	2,553
	農道	1,325
計		3,878
漁港・港湾施設	港湾施設	45,448
	漁港施設	42,752
計		88,200
合計		698,423
公営企業会計		
上水道施設	上水道	304,650
	下水道施設	45,465
合計		350,115
総計		1,048,538

4 公共施設等のマネジメントに関する課題

(1) 公共施設等の将来コストの課題

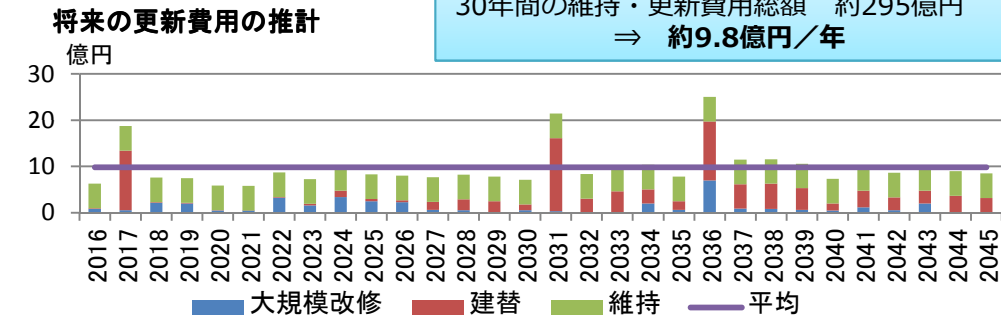
①公共施設（建築物）について

現有施設を今後30年間維持・保有し、大規模改修や耐用年数経過後に更新を行うと仮定した場合、30年間の維持・更新費用総額 約331億円
⇒ 約11億円/年



②インフラ施設について

現有施設を今後30年間維持・保有し、大規模改修や耐用年数経過後に更新を行うと仮定した場合、30年間の維持・更新費用総額 約295億円
⇒ 約9.8億円/年



普通建設事業費 10億円/年 ÷ (公共建築物 11億円/年 + インフラ施設 9.8億円/年)
年必要更新費の48% ⇒ 維持管理計画 必要性急務

3 公共施設等に関する基本的な方針

人口の推移、財政の状況及び公共施設等の状況と課題を踏まえ、少子高齢化に備えた安全・安心なまちづくりを念頭に本市における公共施設等のあり方を中長期的視点から、総合的かつ計画的な管理を推進する必要があるため、公共施設等総合管理計画の基本方針を次のとおり定めるもの。

基本方針

- I スリムで効率的な行政運営を行うため、適正な施設規模及び配置の見直しや合理化に取り組むこと。
- II 計画的な施設整備や長寿命化を図ることにより、維持管理コストの縮減や平準化に取り組むこと。
- III 施設利用の安全・安心な利用を確保するため、施設の安全性や耐震性を確保すること。
- IV 将来を見据えた財政計画のもと、必要な財源を確保すること。
- V 管理に関する情報及び体制を構築し、市民とともに本計画を管理、推進すること。